

施政概要(案)

平成24年第4回(12月)定例会

四街道市

※ 予定行事等が含まれていることや11月20日時点の内容であることから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、平成24年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議の上、ご認定くださるようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、新たな総合計画の策定については、新総合計画策定本部において、引き続き、基本構想案作成に向けた調査・検討を進めているところです。また、総合計画策定に向け、まちづくりの方向性や市の課題解決のための方策を検討する市民参加のワークショップ「まちづくり市民会議」を11月までに6回開催し、12月には提言をいただく予定となっております。

災害対応・防災対策については、26年度を開始年度とする新たな地域防災計画の策定に係る業務委託契約を締結し、策定の前提条件となる防災アセスメントに着手しました。

ごみ処理施設については、佐倉市、酒々井町清掃組合への加入に関し、本年度中に結論を出すべく、引き続き清掃組合との協議を行っています。

四街道市教育振興基本計画の策定については、策定委員会による審議が終了し、11月1日から12月3日までの期間で、計画書案のパブリックコメントを実施しているところです。

11月1日に行いました市表彰式では、功労表彰として5名の方々の表彰を行いました。受賞された皆様におかれましては、今後とも一層のご活躍を祈念申し上げます。

続きまして、主要施策の概要について申し上げます。

【分野別の施策】

「教育と文化が花開くまち」の分野でございますが、学校教育については、「命の教育」推進のための具体策として、11月12日から12月10日の「人権デー」までを期間として、「いじめ撲滅キャンペーン」を実施し、児童生徒、保

護者及び教職員を対象に啓発資料の配布や相談機関の周知等を行うとともに、各学校では、差別やいじめを許さない学校づくりに向け、実態に即しいじめ撲滅の取組を展開しています。

学校施設の整備・充実では、栗山小学校の建設事業において、11月から仮設校舎の使用を開始し、既設校舎（普通教室棟）の解体工事に着工しました。

体育館の耐震化では、9月に栗山小学校の耐震補強工事が完了し、11月から大日小学校及び旭中学校の耐震補強工事に着工しました。

社会教育については、10月28日から恒例の市民文化祭を開催し、文化団体の各種発表会等を実施したほか、11月14日には、児童生徒作品展特別賞表彰式と文化講演会を行い盛会裏に終了しました。

図書館の整備・サービスの充実では、インターネットによる図書予約サービスを10月2日から開始しました。

生涯スポーツについては、10月6日に市総合公園において、体育の日の行事として、「スポーツ de 健康大作戦」を開催し、新体力テストやミニソフトボールをはじめとした様々な種目に、多くの市民のご参加をいただきました。

また、11月18日には「第15回四街道ガス灯ロードレース大会」を開催し、4,000名を超えるランナーの申込みをいただき、本市最大のスポーツイベントは盛会裏に終了しました。

「環境との共生を進めるまち」の分野でございますが、緑の保全・活用については、「みどりの基本計画」に基づき、栗山地先で緑の保全事業を進めています。現在、保全する用地約5.4ヘクタールの借地契約が完了し、市民団体との協働により、自然と触れ合う場の創出に取り組んでいるところです。

環境保全・衛生については、「第2次環境基本計画」の策定に向け、市民アンケート調査やワークショップ等の市民参加手続を実施しています。本年度中に計画の骨子案を作成する予定です。

「ゆとりと安全を実感できるまち」の分野でございますが、生活基盤については、排水対策として、物井新田土地区画整理事業関連ほか3路線の排水溝等の整備工事を、また、8月11日の豪雨災害の対応策として、旭ヶ丘3丁目地先の雨水排水対策工事を発注しました。

溢水対策では、小名木雨水4号幹線上流部と枝線の整備のための実施設計を進めています。また、公共下水道の老朽化に対応するため、長寿命化計画の策定に取り組んでいます。

水道事業では、安全性と安定した給水を確保するため、第1浄水場取水テレメータ設備及び第3浄水場ろ過機設備の更新工事を、また、栗山地先ほか4か

所において、老朽管の更新などの配水改善工事を発注しました。

防災・安全については、平成25年4月からの「ちば消防共同指令センター」での消防指令業務の共同運用に向け、119番通報の切替えや派遣消防職員の研修などを進めています。

消防団については、10月14日に旭分署において、地震による建物の倒壊を想定した要救助者の救出訓練を実施し、大規模災害対応能力の向上を図りました。

消費者保護については、市産業まつりに合わせて、第2会場で「くらしに活かそう 消費者の知恵」と題して消費生活展を開催するなど、啓発活動に努めています。

「生涯安心して暮らせるまち」の分野でございますが、健康づくりについては、本年度が「健康よつかいどう21プラン」の中間評価年度であることから、庁内組織での検討を行うとともに、保健福祉審議会のご意見を伺いながら、評価と、今後5年間の課題や方向性についての検討を進めているところです。

保健医療については、予防接種実施規則等の改正に伴い、11月1日からジフテリア、百日せき、破傷風の「三種混合ワクチン」に不活化ポリオワクチンを加えた「四種混合ワクチン」を実施しています。

子ども家庭福祉については、保育サービスの充実に向け、平成25年4月開園を予定するもねの里地区の民間保育園の整備を支援してまいりたいと考えています。また、子ども医療費助成では、小学校4年生から中学校3年生までの助成について、12月から受給券による現物給付を実施します。

若者育成支援については、11月に「若者支援ガイドブック」を発行し、市民や福祉団体などに周知を図りながら、順次配布を進めています。

高齢者福祉については、「第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び広域型特別養護老人ホームの事業者公募を行い、それぞれ1事業者を選定しました。

社会保障については、稼働能力を有する生活保護受給者に対して、安定就労による生活保護からの早期自立を図るための支援を行う「就労支援員」を10月から1名配置しました。

「活力と魅力が躍動するまち」の分野でございますが、道路・交通については、交通の円滑化と安全確保のため、鹿放ヶ丘半台2号線ほか4路線の舗装修繕工事を、また、内黒田栗山線の歩道設置工事を発注しました。

都市計画道路の整備では、3・3・1号山梨臼井線の用地取得を鋭意進めるとともに、橋梁の詳細設計、地質調査及び取付道路の築造工事を実施していま

す。また、3・4・20号物井1号線及び7・6・21号物井2号線については、引き続き、物井特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、道路築造工事を進めています。

公共交通関係では、11月13日に四街道市地域公共交通会議を開催し、来年3月に予定しているヨッピーの新たな運行方法の実施に向け、運行時間帯や運行本数、利用促進策等について協議しました。今後は、新設する停留所の設置位置等の調整を行い、市民や沿線自治会へ周知を図ってまいります。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、引き続き鹿渡南部土地区画整理組合と保留地購入に向けた協議を行っております。

商工業・農林業については、「みつめよう わが町ふるさと 四街道」をテーマに、第36回四街道市産業まつりを11月10日、11日に四街道中央公園を主会場に開催しました。各関係者のご協力の下、農産物や商工業製品の展示、即売等が行われ、盛況裏に終了しました。また、11月4日に市の商店街活性化事業補助金を活用した「よっかいどう一区共栄フリーマーケット」が関係商店会と地元自治会の主催で開催され、多くの市民の皆様がご来場されました。今後も、このような取組を含め、商店会と住民が一体となって、商業を核とした地域の活性化が図られるよう支援を進めてまいります。

「市民協働で歩むまち」の分野でございますが、市民参加については、本年9月に設置しました「みんなで地域づくり事業基金」への資金拠出を申請していただきました財団法人民間都市開発推進機構から、「まちづくりファンド支援事業」として、申請額どおり2千万円の資金拠出を行う旨の選定通知がありました。今後は、来年1月中旬に交付申請を行い、本年度中に資金拠出を受ける予定です。なお、当該基金を活用し、来年度事業として採択する「みんなで地域づくり事業」の提案は、今月末までの仮提出期間を設けて現在募集しているところです。今後、意見交換等や公開プレゼンテーションによる審査を経て事業採択してまいります。

男女共同参画については、男女共同参画推進計画の次期計画策定に向け、市民の意向や意見を把握するため、現在、市民アンケート調査を実施しています。今後は、調査結果を踏まえ、市民参加手続を実施しながら、平成25年度内の策定に向け、策定作業を進めてまいります。

イメージアップについては、地域ブランドの創生に向け、みんなで地域づくりセンターの地域づくりサロンとして実施しました「ご当地グルメ」の講座が11月に終了し、参加者により「よっグルメ研究会」が設立されました。今後、更なる調査研究に向け、協働による取組を行ってまいります。

国際交流については、10月19日に姉妹都市のリバモア市から短期留学生

20名と随行・訪問団14名が来市しました。翌20日には、四街道市国際交流協会主催による歓迎パーティーが行われるなど、ホストファミリーをはじめとする多くの市民との交流が深められました。なお、来年3月には、本市から20名の短期留学生をリバモア市へ派遣する予定で、現在準備を進めています。

行財政については、本年4月に収税課内に設置しました債権回収室において、滞納となっている国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料及び保育料のうち、所管課より移管を受けたものの徴収業務を進めています。なお、11月21日には滞納処分として、不動産の公売を実施したところです。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年11月26日

四街道市長 佐 渡 斉